10

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長　森脇　康仁 (　木戸　徹　)	内線	4459 (4465)

事業種目	砂防事業	事　業　名	事　業　区　間	総事業費	4.5 億円
		通常砂防事業 山根川（やまね）		内用地補償費	0.1 億円

所　在　地	事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度
宍粟市　一宮町　上野田（かみのだ）	19年度	19年度	23年度

事　業　目　的	事　業　内　容
○土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命, 財産、(主)加美宍粟線、市道、災害時の避難所である能倉公民館・上野田公民館及び郵便局を保全する。	・砂防えん堤工　　3基 (H＝14.0m, L＝110.0m) (H＝8.0m, L＝50.0m) (H＝7.0m, L＝47.5m) 〔負担割合　国:1／2、県:1／2〕

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	
○安全・安心	・山根川は土石流危険渓流である。 ・渓岸の浸食が進み流域内も荒廃している。既設の治山谷止工があるが、砂防設備は未整備である。 ・流域状況は急峻な地形で渓岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象:人家＝67戸、公共施設＝(主)加美宍粟線(孤立化)、市道、郵便局、能倉公民館(避難所)、上野田公民館(避難所)、その他＝消防倉庫、神社、田畑＝2.6ha
○地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性を軽減し、第二次緊急輸送道路である(主)加美宍粟線を保全することにより、上流集落の孤立化を防止し、地域間の交流に一層寄与する。
○快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
○その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。
(2)有効性・効率性	
○有効性	・人命・財産(人家67戸)、(主)加美宍粟線、市道、災害時の避難所である能倉公民館・上野田公民館、郵便局が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
○効率性	・地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には、人家67戸のほか(主)加美宍粟線、市道、災害時の避難所である能倉公民館・上野田公民館、郵便局がある。 ・流域状況は荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、上野田地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。